

AZIK 導入 最初の 6 日間

使用した日本語入力システム：ATOK2005

5月10日

ATOKのローマ字登録状況

- ・レベル1を全部セット。(レベル1:「っ」「ん」「しゃ行」「ちゃ行」)
- ・通常の「しゃ行」「ちゃ行」(syu、tya など)をローマ字表から全部削除。そうでないと使ってしまうので。
- ・レベル2...「～ん」のうち『ア～ん』の登録を少し
- ・レベル3...『ー』を「:」で入力(長音互換キー)

入力の状況

- ・手元を見ずに、打ってみて手に覚えさせている。同じ単語が何度も打ち直しになるので、進みが遅い。
- ・1日ばかりでどうにか音声1時間分起こす。
- ・でも、変わらないキー配置の部分は普通に打てるから、仕事自体がストップするわけではない。親指シフトに転向するより気分的な抵抗は少ない。
- ・「:」がキーボードから直接出せないのも面倒。

5月11日

ATOKのローマ字登録状況

- ・AZIKでは音引き「ー」が「:」キーだが、「:」記号をキーボードから直接出せないと、何かと不便。そのため「ー」の割り当てを「@」キーに変えた。

入力の状況

- ・午前中、音声20分ぶん起こす。
- ・AZIKのキーで使っているのはまだ少ないし、これまでの単語登録はキーの位置が変わってもそのまま使えるので、なんとか入力できる。nedz ねだん、1xuukz 1しゅうかん(1週間)ぐらいは、考えたり手を止めたりしなくても打てるようになった。
- ・夜、1時間半で24分起こす。6500字ぐらい。10分722字...普段よりだいぶ遅いが、2日目としてはまあまあか。
- ・「～ん」を全部覚えるべく、入力しながら出てきたものをローマ字表に登録。多いので一度に全部は登録していない(仕事を進めるほうが優先)。
- ・今まで「クエスチョン」の連想から「Q 質問」、「ごQ ご質問」という単語登録をしていたのだが、「Q」が「ん」になってしまい、これが使えない。どうするか。

5月12日

ATOKのローマ字登録状況

- ・入力しながら、出てきた「～ん」の登録を続ける。

入力の状況

- ・「～ん」については、AZIK式で入力しなかったら消してやり直し、を徹底する。
- ・今日は起こしは26分、あとは聞き直し。

5月13日

入力の状況

- ・アンケートの入力。単語登録で対応できる語が多いので、あまり支障なし。

5月14日

ATOKのローマ字登録状況

- ・「kk 結局」という単語登録が使えない。AZIKでは「kk きん」だからだ。「けき 結局」と単語登録し直したが、「けき」では4タッチもあるから効果が低い。要検討。

(「けk」は「計画」ですでに使っている)

- ・「～ん」の登録に落ちがあった。今まで清音、濁音(かん、がん)等しかやっていなかったのだが、撥音拡張は「ぎゃん」等にも使えるのだ。明日から徐々に登録予定。

入力の状況

- ・話し言葉では、「なんかへんなかんじなんだ」のように「～ん」が続く言い回しが少ない。「～ん」が手になじんでくれればスピードアップに結びつくだらう。

通常の入力(23タッチ) nannkahennakanjinannda

私の今まで(20タッチ) na;kahe;naka;jina;da

AZIK使用(16タッチ) nzkahdnakzjinzda

カナ入力(14タッチ)

私の今までの入力方法...「 ; ん」

5月15日

ATOKのローマ字登録状況

- ・「jk 状況」という単語登録が使えない。AZIKでは「jk じん」だからだ。この先AZIK式のローマ字登録が増えると、ますますこれまでの単語登録は使えなくなるだらう。とりあえず「じょk 状況」と登録し直した。

- ・「kg 考え」は使えるが「kgk 考え方」が使えない。AZIKだと「gk ぎん」だからだ。

入力の状況

- ・AZIKを積極的に使おうとするほど、元の単語登録とぶつかることが増えている。AZIK導入をあきらめて、むしろ単語登録路線を突き進むほうがいいのだろうか...

というわけで、AZIKレベル2の途中で挫折。

AZIK導入 6 日目時点で考える...

(ここでは現在の私の入力方法を仮に廿式と呼びます)

AZIK と廿式の方向性の違い

AZIK は入力全体のタッチ数を減らそうとする。

廿式は自分の仕事で使う語に絞ってタッチ数を減らそうとする。

AZIK を徹底する場合、ローマ字を生かした単語登録はかなり支障が出る。

だから AZIK と単語登録は両立しにくい。どちらかを選ぶしかない。

単語登録路線を取る場合、AZIK のレベル4 (d s です、m s ます など) は、単語登録に似ているので使いやすいと思われる。

廿式...

キーの割当てを変える

x - ; ん @ っ 無変換キー カタカナ変換

各文字で一番短いローマ字を使う

s h i し と入力せずに s i し

自分の仕事でよく使う語 (人によって違う) を単語登録する

個別に暗記するわけではなく一定の規則があるので 1000 語ぐらいは覚えられる

し r 資料、た h 大変、さ k 参考

ちゅじ 中国人、にじ 日本人 ...など、同じ形の語にはできるだけ同じ形式

その後

ATIK のレベル4 は取り入れたい。単語登録するのではなく、ローマ字入力の配列自体をカスタマイズするという考え方は素晴らしいと思う。

レベル4 の中で、k t こと というローマ字の設定はだいぶ慣れた。